

秋葉区

No.16 2008.6.18

九条の会

秋葉区「九条の会」事務局
新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://www7a.biglobe.ne.jp>

[/~hiro-line/nk9jo/index.htm](http://hiro-line/nk9jo/index.htm)

画期的な「9条世界会議」大成功！

「参加者のべ2万人、場外に3千人」メディア各誌が報道

「9条会議」1万人殺到

(2008年5月5日付け 読売新聞より)

憲法9条と、武力によらない世界平和について考える「9条世界会議」が4日、千葉市美浜区の幕張メッセで開幕。北アイルランド問題の平和的解決に取り組み、1976年にノーベル平和賞を受賞したマイリード・マグワイア氏らの基調講演が行われた。夜には、趣旨に賛同する加藤登紀子さんやUA(ウーア)さんらのコンサートも行われた。

幕張メッセ前には1万人を超える来場者が殺到し、会場内に入りきれない人が続出。当日券の販売は中止となり、前売り券の払い戻しも行われた。このため、近くにある野外のメッセモールで入場待ちをしていた約1000人を前に、急きょ、マグワイア氏らが追加講演を行う一幕もあった。

マグワイア氏は「9条は全世界にとって重要なもの。紛争などは話し合うことで解決できる」と訴え、「会場に人が入りきらなかったのは、世界中の人が平和を求めているからだ」と熱弁を振った。会議は5日にシンポジウムなどが行われ、6日に閉幕する。

9条世界会議に参加して ～平和ということは今を生きられること～

5月4日から幕張メッセ(千葉県)で開かれた9条世界会議に参加しました。この国の憲法のたったの一条文で世界各国から参加者が来て会議が開かれるということは、画期的なことではないでしょうか。それは9条の精神、特に「交戦権の否認」を各国の憲法の書き込もうという意思表示なのです。

紛争が絶えない地域の人々は、この瞬間も死と隣り合わせで仕事にも学校にも行けず、戦争が痛みの根源になっていて、誰よりも平和を強く願っています。一方、残念ながら今の日本の若者の一部は、貧困の中で絶望し戦争にでも何でもなってしまうと自暴自棄になっています。しかし、どちらにも共通した願いは、「安心して生きたい」ということです。

日本の貧困問題に詳しい作家の雨宮処凛さんは言います。「人殺しのための軍事費にお金を使うのではなくて、人を生きさせるために使えばいい」と。全くそのとおりです。今でも航空自衛隊はイラクで無料宅配便、海上自衛隊はインド洋で無料ガソリンスタンドになっています。しかし、国民には年寄りいじめの後期高齢者医療制度、さらなる物価高を誘う暫定税率の復活。9条を持っている日本なのに、アメリカ軍に大盤振る舞いするせいで、庶民の財布はなおいそ

う寒くなるばかりです。まさに、今の暮らしそのものをよくするために、日本政府に対して9条を生かせと一歩踏み出すときです。それは、遠く離れた異国の人々を死の恐怖から断ち切ることに繋がっています。 山崎武央

憲法9条を守れ、戦争反対！

宣伝カーを走らせます！

自民、公明、民主の3党は、5月21日宇宙基本法を成立させました。平和利用に限っていた宇宙開発が、軍事目的に使われることになりました。早期警戒衛星、他国の衛星を攻撃するキラ衛星などの開発で、戦場が宇宙にまで広がります。

8月6日から3日間、憲法9条を守れ、戦争反対の声を秋葉区全体に広げるために宣伝カーを走らせます。

1日2時間 運転できる方を募集しています。是非ご応募下さい！

連絡先：板橋育夫 (Tel 23-0764)

憲法を生かし、真の平和を保障する日本の実現を

5月17日「新潟県9条の会」3周年記念『講演と音楽のつどい』が万代市民会館で開催、140人が参加しました。川村正敏弁護士、成嶋隆教授の両名の代表挨拶につづき、フォークグループ「みつばち」が「戦争を知らない子どもたち」「ヒマワリ」などを披露。

記念講演では、高橋哲哉・東京大学大学院教授が「憲法について今考えること」と題して講演。荒波に耐えて61年生きてきた憲法を誇ってよい。①「9条世界会議」に3万人が集まり世界的に支持されていること。②世論調査で改憲反対が多数になったこと。③名古屋高裁では自衛隊イラク派兵違憲判決と平和的生存権を認め「戦争をやめさせる権利がある」といっていると同じこと。等などが追い風になっているが、現状では9条に反するさまざまな法律が出来上がっている。自衛隊海外派兵や沖縄の基地問題などもあり9条が守られたとしても、現状維持ではその平和はあやうい。憲法9条を守るだけではなく、9条が実現される日本をつくり出すことが必要と呼びかけました。

「憲法9条大好き、戦争きらい」

5月3日、新成人の若者に訴えました！

5月3日、憲法記念日にちなんでの宣伝に参加しました。成人式に参加する若者たちが「憲法9条」に対してどんな意識を持っているのか、また、若者たちに「憲法9条」のことをもっと知ってもらおうと「シール・アンケート」行いました。「シール・アンケート」とは、ボードに「憲法9条を変えることに『賛成』『反対』『わからない』」と書いてあり、自分の思うところへシールを貼ってもらおうというものです。

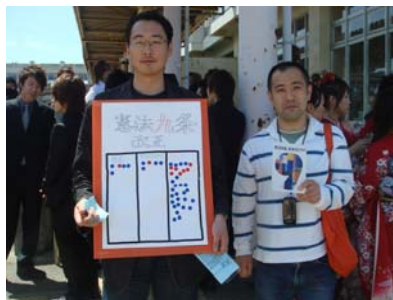
成人式の会場と言うこともあり、最初は私たちの存在に怪訝な顔をするものの、シール・アンケートのボードは人目を引き、一度人だかりができると対話が弾みました。

教育内容の変遷からか、憲法について学校では習っていない様子。およそ半数くらいの若者は『わからない』と答えましたが、9条の会のチラシを手渡し、「憲法9条は日本が『戦争しない。武器は持たない。』と決めた条文なんだ。今、財界や一部の権力者たちの意向で、その条文が変えられようとしているんだよ。」と話すと、「じゃあ大事なんですね。」と返事が返ってきました。

約30人と対話しましたが、『賛成』に貼った人はほとんどいませんでした。中には明確な意志をもって『反対』にシールを貼ってくれる若者もいて、「頑張ってください」との声援まで贈られ、非常に励まされました。

この日の宣伝がきっかけで、一人でも多くの若者が憲法9条について考え、尊さに気づいてもらえたなら、と願わずにはいられません。

中村岳夫(吉岡町)



シールが圧倒的に多い枠が「憲法9条を変えるのに反対」

平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、
皆でつなぐ、平和のメッセージを！

「戦争体験を聞く会」を開きました！

5月11日と18日の日曜日、美幸町在住の山崎俊彦さん(元軍医・中尉 88才)に話をしてもらう「戦争体験を聞く会」を、美幸町の町内会館で開催しました。私個人名のチラシを作り、町内会長のご好意で美幸町630戸に町内会ルートで全戸配布してもらいました。参加者は5月11日41名、18日27名でした。

山崎さんは、戦争末期にビルマ(現ミャンマー)南部に兵(つわもの)兵団の軍医として従軍し、敗走に次ぐ敗走の中「万死に一生」を得て終戦を迎え、二年余の収容所生活を経て帰国されました。

山崎さんの話は、実際に体験したりリアルなものでした。特に印象に残ったのは、「日本軍の武器・弾薬・食料などの補給を考慮しない作戦」「食料は全部調達(略奪)」「兵士への人命軽視」「朝鮮から連行してきた従軍慰安婦を見捨て、現地に置き去りにした」「あの大東亜戦争そのものが無謀であった」などでした。

戦争の悲惨さと平和の大切さを痛感した二日間の話でした。

また、両日とも兵士として従軍した二人の戦争体験者も参加されていましたが、この方たちの話を「聞く会」もぜひ開きたいものです。

中村皓一(美幸町)

